

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「信州山の日」鉢盛山記念登山事業
事業主体 (連絡先)	朝日村 (0263-99-2001)
事業区分	⑥ ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	799,284 円(うち支援金:599,000 円)

事業内容

国土地理院が標高地を改定し、2447m になったことを広く周知するため、長野県で制定した「信州 山の日」にあわせて記念登山を行い、多くの方に鉢盛山の魅力を感じていただくこと。

また、登山の様子や、鉢盛山に対する思いなどを感じる番組を制作し、鉢盛山を知らなかった皆さんに、山の魅力を感じていただいて、新たな登山者の発掘を図ります。

鉢盛山の登山ガイドを、村内でイラスト等を手がける方に依頼し、マンガにすることで、子どもから大人まで、親しみを感じるタッチで、多くの目に触れることで、さらなる展開を期待して行ないます。



【鉢盛山記念登山】

【目標・ねらい】

- ① 標高の改定を周知
鉢盛山の標高は 2,447m
- ② 山の恩恵を再認識
山に感謝する気持ちを育てる
- ③ ものづくり人の事業展開
イラストを広くアピール

事業効果

信州山の日が制定され、鉢盛山への関心が高まり、記念登山は小学生から70代の男性まで30人が、鉢盛山を楽しみました。長年朝日村に住んでいてもはじめて登る方や、昔を懐かしみ挑戦する方など、思いはそれぞれでした。

今シーズンは、7月と8月の2ヶ月間に、およそ550人が鉢盛山に登りました。その内約200人は県外からの登山者で、宿泊施設の問い合わせもありました。

26年秋には、家族やグループで利用できる、村内のカラマツをふんだんに使ったコテージが完成し、今後、登山をきっかけに、遠方から朝日村を訪れる方には、観光施設や宿泊施設の利用も期待できそうです。

※自己評価【B】

【理由】

9月の雨により、林道の一部が崩落して、秋の紅葉シーズンを前に、登山ができなくなり、登山者への周知が不十分となったこと。

今後の取り組み

登山シーズンを前に鉢盛山に関心のある団体と連携して、登山道等の整備を行い、多くの登山者が安心して楽しめるように環境の整備を図る。

また、小学校の登山教室など、子どもの頃から山に親しむ場を設け、山の恵にふれることで、山に対する感謝の気持ちが芽生え、自然環境を守る意識をもつなどの活動も考えられます。